

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画（実行団体）**

| | |
|---------------|---------------------|
| 事業名(主) | フードバンク山口ほうふステーション事業 |
| 事業名(副) ※任意 | |

入力数 主 19 字 副 0 字

| | |
|---------|----------------------|
| 実行団体名 | 特定非営利活動法人市民活動さぼーとねっと |
| 資金分配団体名 | 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム |

優先的に解決すべき社会の諸課題

| 領域 | 分野 |
|--|---|
| <input checked="" type="checkbox"/> 1) 子ども及び若者の支援に係る活動 | <input checked="" type="checkbox"/> ①経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援 |
| | <input type="checkbox"/> ②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援 |
| | <input type="checkbox"/> ③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援 |
| <input type="checkbox"/> 2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動 | <input type="checkbox"/> ④働くことが困難な人への支援 |
| | <input type="checkbox"/> ⑤社会的孤立や差別の解消に向けた支援 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動 | <input type="checkbox"/> ⑥地域の働く場づくりの支援 |
| | <input checked="" type="checkbox"/> ⑦安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援 |

| | |
|------------------------|--------------------------|
| 上記以外 その他の解決すべき社会の課題 | <input type="checkbox"/> |
|------------------------|--------------------------|

入力数 0 字

SDGsとの関連

| |
|-------------------|
| ゴール |
| _1.貧困をなくそう |
| _2.飢餓をゼロに |
| _3.すべての人に健康と福祉を |
| _10.人や国の不平等をなくそう |
| _11.住み続けられるまちづくりを |

| | | | | | | |
|------|----------------------|--------|---|---------------------------------------|--|-------------------------|
| 実施時期 | 2021年 7月 ~ 2021年 12月 | 事業対象地域 | <input type="checkbox"/> 全国 <input checked="" type="checkbox"/> 特定地域 (山口県防府市内) | 事業対象者： (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む) | ・コロナ禍による経済的な困難を抱える家庭やひとり親家庭など ・地域食堂やこども食堂を利用する家庭 ・児童民生委員やスクールソーシャルワーカーや地域包括支援センターなどが支援している家庭 | 事業対象者人数 1,000人、100家庭 |
|------|----------------------|--------|---|---------------------------------------|--|-------------------------|

I. 団体の社会的役割

| |
|---|
| (1) 団体の目的 |
| 山口県内を中心として、市民活動等を行っている個人や団体、また、その活動の支援や振興を図ろうとするものに対して、学習会の開催、人材の発掘や養成、情報の収集や発信、情報交換やネットワークの支援、相談、活動拠点の整備、協働体制の整備など、市民活動の振興に関する事業を行い、市民活動の振興や発展を図ることにより、安全で明るく住みよい地域社会の発展に寄与することを目的とする。 |
| (2) 団体の概要・事業内容等 |
| <ul style="list-style-type: none"> ・防府市地域協働支援センター事業（防府市指定管理） ・防府市ファミリーサポートセンター事業（防府市委託事業） <ul style="list-style-type: none"> → 子育ての援助を受けたい人で行いたい人が会員になり、センター事務局を橋渡し役として、会員同士が子どもの世話を一時的に有料で援助しあう事業 ・防府市内の留守家庭児童学級事業9学級（防府市委託事業） <ul style="list-style-type: none"> → 保護者が共働きなどの理由で日中不在になることにより、家庭における保育が出来ない児童のため、下校後におけるこれら児童の集団生活指導を実施する事業 ・フードバンク山口ほうふステーションの運営 ・こども食堂（ルルサス食堂）の運営 |

入力数 (1) 184 字 (2) 283 字

II. 事業の背景・社会課題

| |
|---|
| 新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題 |
| 新型コロナウイルス感染症による経済的な影響は、ひとり親家庭などの元々経済的な基盤が脆弱な傾向にある家庭に影響を与えていると言われている。 当法人が2020年8月に、防府市内の子育て中の家庭を対象に行ったアンケートでは、新型コロナウイルス感染症による影響について、以下のような結果が出ている。 |
| ○2019年の暮らし向きについて <ul style="list-style-type: none"> ・ひとり親世帯の場合、「やや苦しい」という回答が60%、「大変苦しい」が20%。 ・全世帯の場合、「やや苦しい」という回答が27%、「大変苦しい」が3% <ul style="list-style-type: none"> → もともと、ひとり親家庭は経済状況に困難な状況にある割合が多い。 |
| ○2020年の暮らし向きについて <ul style="list-style-type: none"> ・「やや苦しい」または「大変苦しい」と回答した人の割合が下記の通り増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響は、全世帯に影響していることが分かる。 <ul style="list-style-type: none"> ひとり親家庭：80%→88% 全世帯：30%→59% |
| また、フードバンクを利用する児童民生委員やスクールソーシャルワーカー、児童福祉施設職員などからの個別聞き取りからも、元々親が非正規雇用などで不安定な状況がある家庭では、職種によっては会社の都合で勤務時間が減るなどの影響により、収入減少などにつながっているといった意見を聞いている。 |

%

入力数 560 字

III.事業内容

| (1)事業の概要 | |
|----------|--|
| ハード整備 | ・倉庫および業務用冷蔵庫・冷凍庫の増設による食品保管機能の拡充、厨房設備増設による食支援の拡充、倉庫の遠隔開錠システムの導入 |
| 組織基盤整備 | ・自主的な財政基盤の強化や民間主体による課題解決へのしくみづくりに関するノウハウや知見の獲得 |

入力数 123 字

| (2)事業実施後（1年後）以降に目標とする状態 | |
|-------------------------|--|
| ハード整備 | ・冷蔵保存食品や生鮮食品など対応品目が増え、受入取扱量が現行2.9トン/年から4トン/年に増加している。 ・支援対象者に向けて提供する支援物資の提供件数が増え、現行で延べ250回程度/年から延べ500回程度/年に増加している。 |
| 組織基盤整備 | ・コミュニティ財団設立など、民間主体の課題解決のしくみづくりに関するノウハウを共有するメンバーが増え、財団設立などを検討する会が発足している。 |

入力数 199 字

| (3)今回の事業実施で達成される状態（アウトプット） | 実施・到達状況の目安とする指標 | 把握方法 | 目標値/目標状態 | 目標達成時期 |
|--|--|--|--|---|
| ハード整備 ・倉庫設備と関連システムが整っている ・厨房機能が整備されている 組織基盤整備 ・民間主体での課題解決のしくみづくりに関する学習会が継続的に開催されている ・自団体の中長期的ファンドレイジング計画と短期行動計画が策定されている | ハード整備 ・整備された倉庫の有無 ・購入した冷凍冷蔵庫の有無 ・増設された厨房機能の有無 ・倉庫開錠システムの有無 組織基盤整備 ・学習会の参加人数 ・策定された計画の件数 | ハード整備 ・整備購入した備品等の目視による確認 組織基盤整備 ・勉強会参加者リストの作成 ・策定された計画の共有または公開 | ハード整備 ・倉庫の整備完了 ・冷凍冷蔵庫の納品 ・厨房機能の設置完了 ・開錠システムの導入完了 組織基盤整備 ・勉強会の参加者数：10名/回？ ・長期的計画を策定、短期的計画を策定（初期版、見直し版） | ハード整備 ・2021年12月 組織基盤整備 ・2021年12月 |

| (4)活動 | 時期 |
|--|--|
| ハード整備 ・冷蔵庫や冷凍庫の購入、搬入および設置 ・厨房機能の新設工事 ・開錠システム導入手続き、倉庫への施工 ・以上、ハード整備の進捗や完了について情報発信および協力者への寄付呼びかけ 組織基盤整備 ・自主的な財政基盤の強化や民間主体による課題解決へのしくみづくりに関する外部アドバイザーへの相談・協議など ・自団体の中長期的ファンドレイジング計画と短期行動計画案の策定 ・民間主体での課題解決のしくみづくりに関する勉強会の開催 | ハード整備 ・冷蔵庫や冷凍庫の設置：2021年8月 ・開錠システム導入完了：2021年9月 ・厨房機能の工事完了：2021年10月 ・情報発信や呼びかけ：2021年8月以降 組織基盤整備 ・外部アドバイザーのコンサルティング：2021年7月より1~2回/月程度 ・中長期的ファンドレイジング計画の策定：2021年7月 ・ファンドレイジング短期行動計画の策定およびその見直しと継続実施：2021年7月（策定）、同年9月（見直し） ・課題解決のしくみづくりに関する勉強会：2021年9月より事業期間内に2回程度 |

IV.事業実施体制

| | |
|--------------------|--|
| (1)メンバー構成と各メンバーの役割 | <ul style="list-style-type: none"> ●実行責任者 法人代表：堀越雅美、事務局長：松村和子 ●資金管理は2名で担当 決済責任：松浦和子、経理・通帳管理：友景良江 ●事業担当は2名で構成 ボランティアの受け入れや食品等の受取りの管理、ファンドレイジングや外部団体との交渉などを広く担当 ●その他、既存事業で情報発信等を担う法人スタッフが、本事業に関する情報発信も行う |
| (2)他団体との連携体制 | <ul style="list-style-type: none"> ●県域で活動する「特定非営利活動法人フードバンク山口」と事業提携し、山口県防府市のフードバンク拠点である「ほうふステーション」を運営中。 ●事業関係者として、下記のような様々な機関との連携体制を構築済み。 ・市役所 ・児童民生委員、SSW ・地域包括支援センター ・地域食堂や子ども食堂 ・生活困窮者自立支援相談センター など |
| (3)想定されるリスクと管理体制 | <ul style="list-style-type: none"> ●リスク 活動の拡大や利用者の増加に伴い、人流が盛んとなるケースも生じるため、新型コロナウイルスの感染拡大リスクが高まる可能性をばらむ。 ●対策 スタッフ、ボランティア、または倉庫の利用者に対して、マスクの着用や手指の消毒などをアナウンスし、予防を促す。 事業施設内や、倉庫内の換気に努める。 |

V.関連する主な実績

| (1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無 | | | | |
|--|---------------------------------------|--------------------------------|--------------|---|
| 新型コロナウイルス感染症に係る事業 | | | | |
| ①本申請事業について、新型コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け活動を実施している(予定も含む) | 有 <input checked="" type="checkbox"/> | 無 <input type="checkbox"/> | 有の場合 その詳細 | 山口県の「やまぐち子ども・子育て応援ファンド助成金」10万円、山口県共同募金会30万円の助成を受けて、地域で子どもを支えるための循環する支援モデルづくりを図った（令和2年度） |
| ②本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金（ふるさと納税を財源とする資金提供を含む）を受けていない | 無 <input checked="" type="checkbox"/> | ※有の場合、選定の対象外となります（公募要領：助成方針参照） | | |
| (2)申請事業に関連する調査研究、連携の実績 | | | | |
| ・県域で活動する「特定非営利活動法人フードバンク山口」と事業提携し、山口県防府市のフードバンク拠点を運営 | | | | |